

# 建築教育機関を対象とした 建築情報教育アンケート調査

2021年12月10日

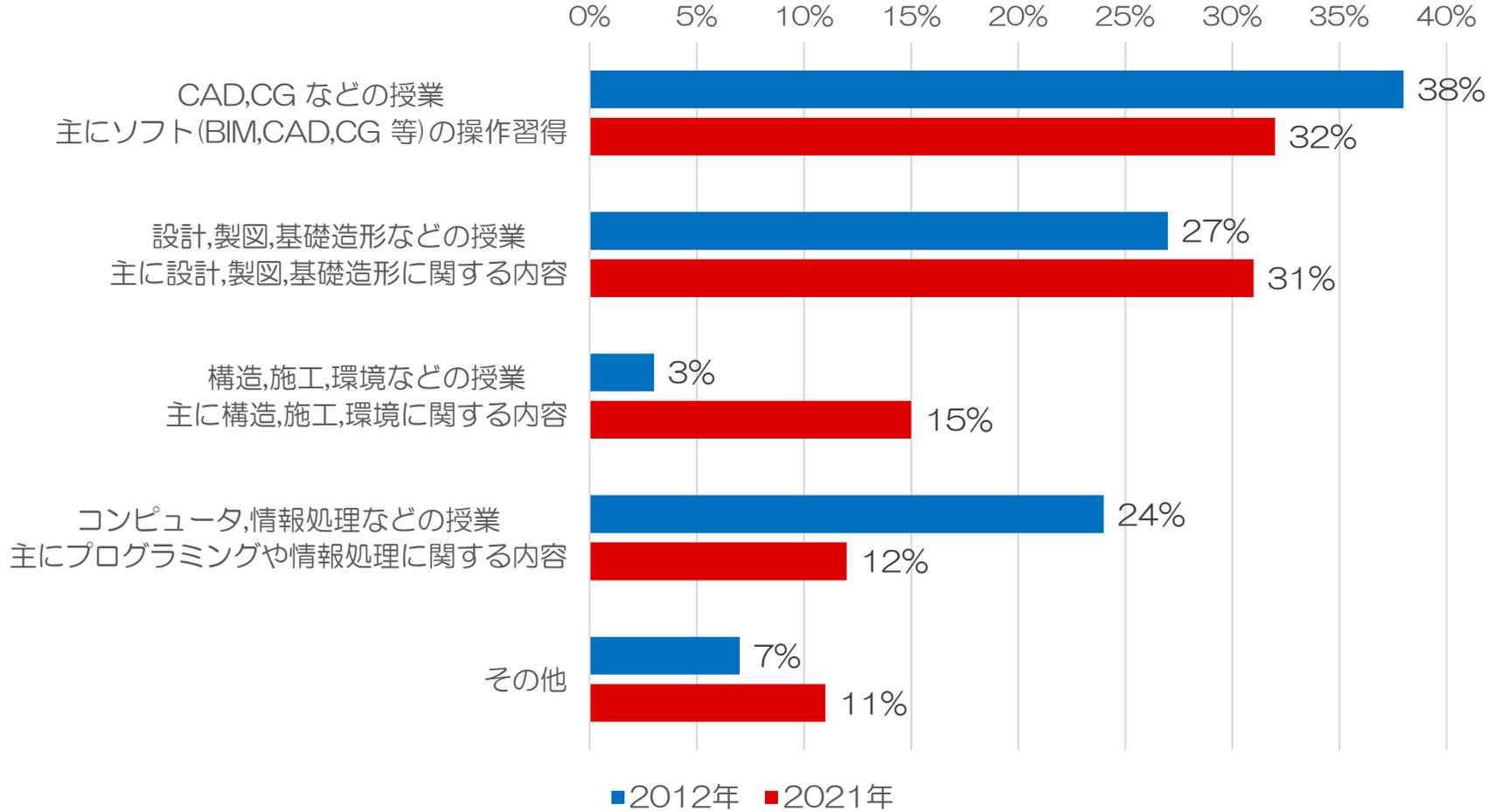
日本建築学会  
情報システム技術委員会

# 調査の概要

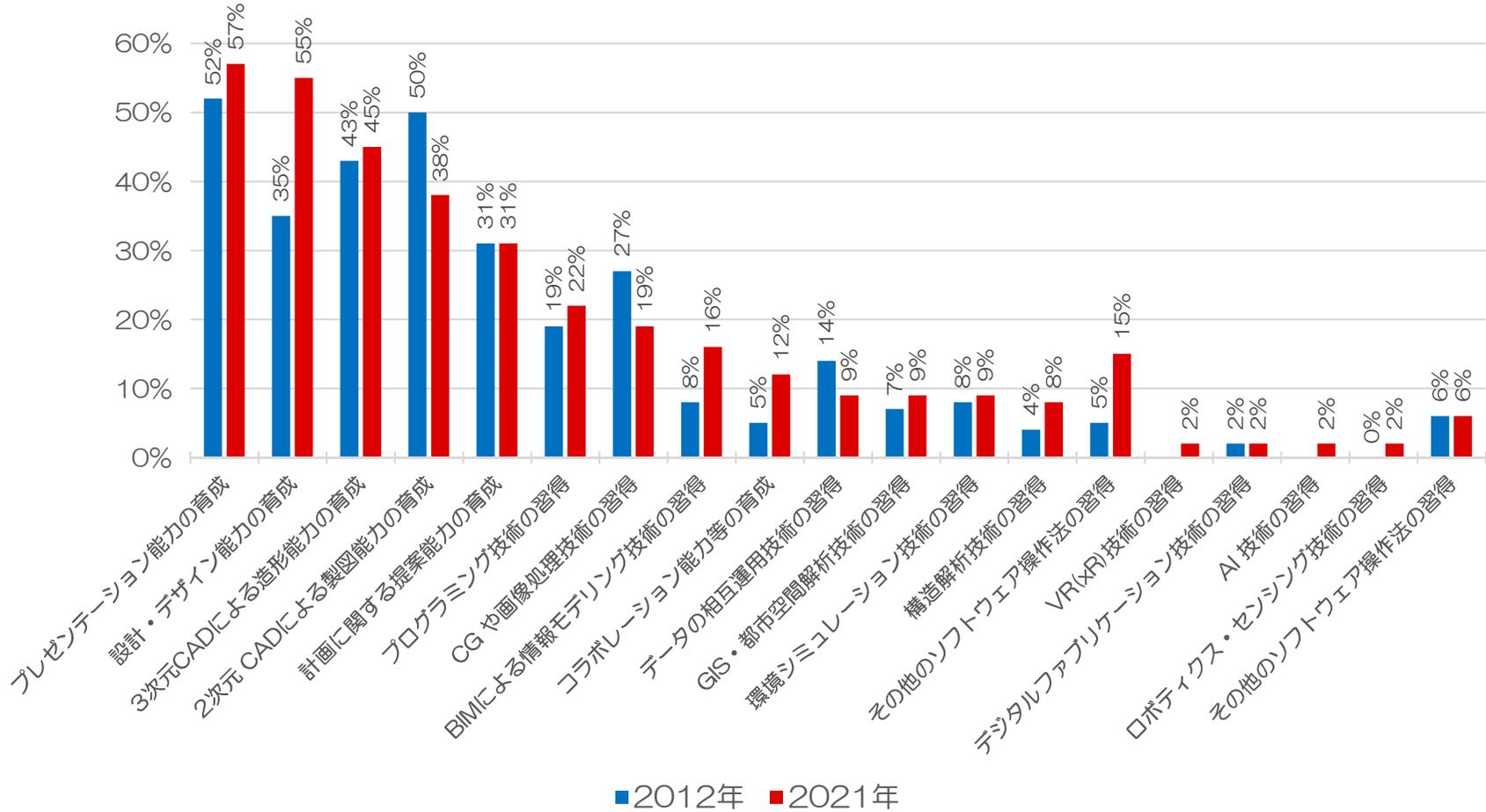
- 調査対象：大学(建築関係学科)名簿 2020 年版
- 調査期間：2021 年 3 月 17 日(水)~4 月 16 日(金)
- 調査方法：Webアンケート

		依頼数	学科の基本情報		科目毎の授業 内容の回答数
			回答数	回答率	
総数		201	80	39.8%	129
内訳	大学(大学院)	177	67	37.9%	115
	短期大学	3	0	0%	0
	高等専門学校	13	9	69.2%	12
	大学校	8	4	50.0%	2

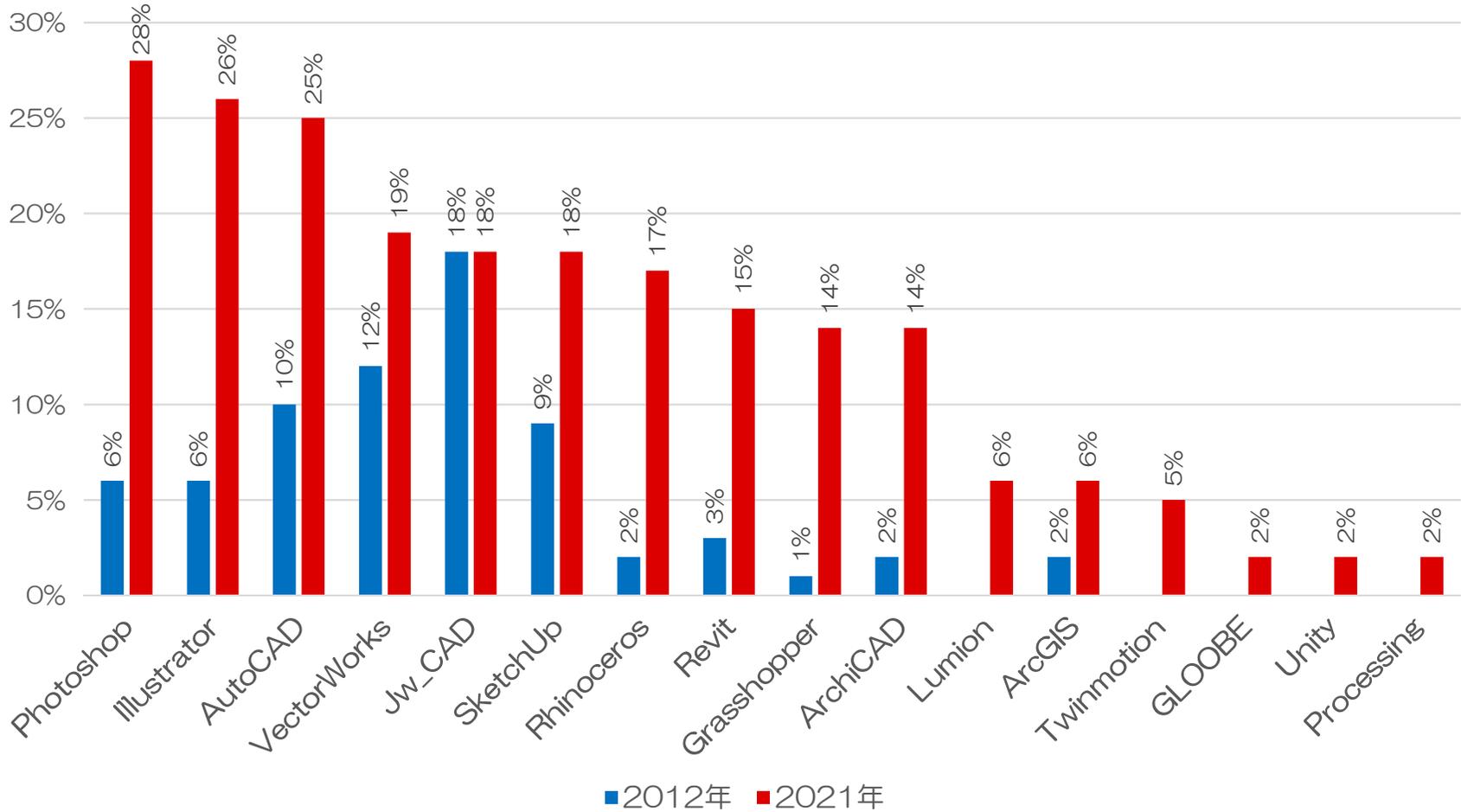
# 授業カテゴリー



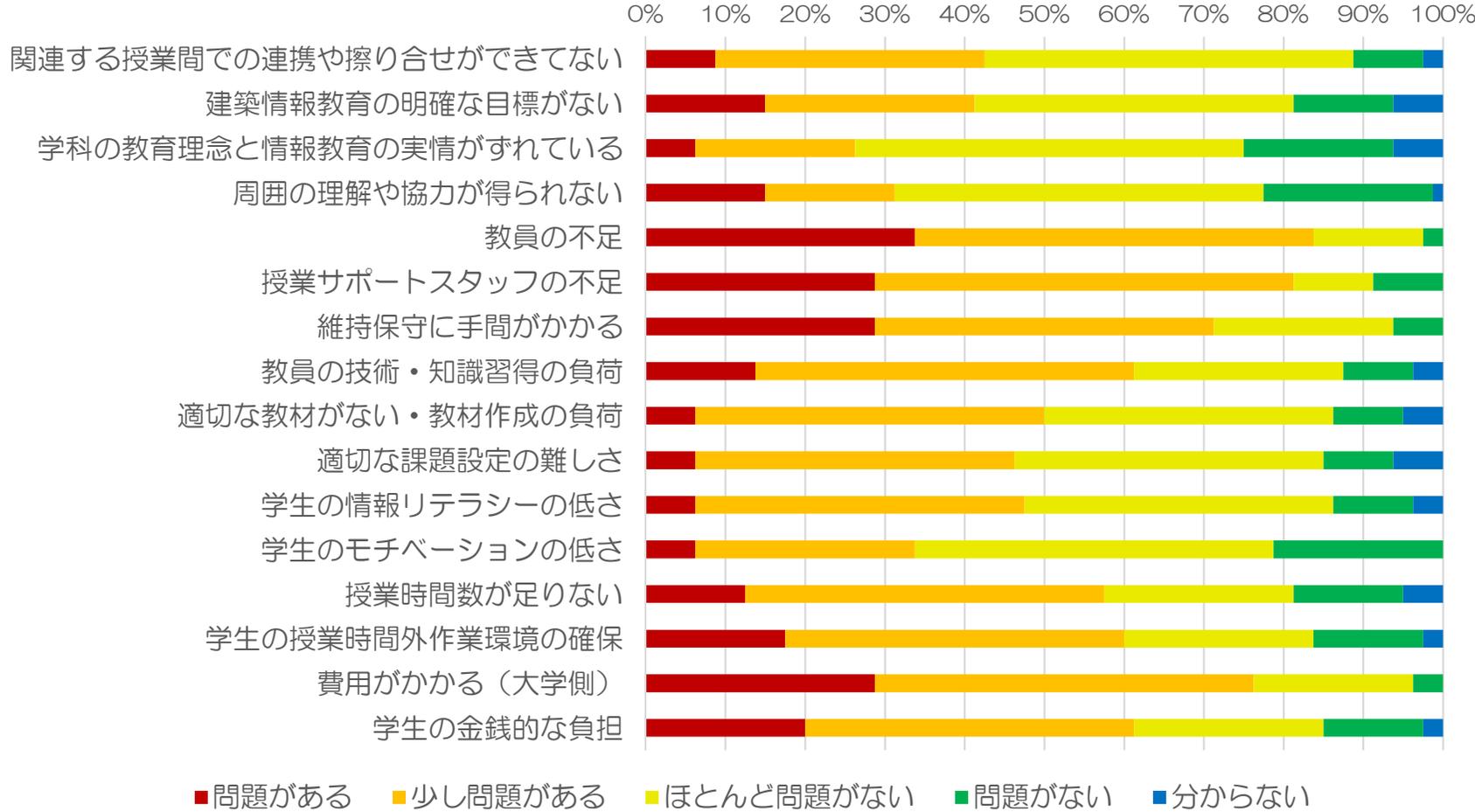
# 情報技術の活用目的



# 利用ソフトウェア



# 建築情報教育の現状の問題



## まとめ

---

- 情報技術の活用目的
  - 2次元CADによる製図能力の育成が減少
  - 設計・デザイン能力の育成が増加
- 授業カテゴリー
  - 情報処理系の授業カテゴリーが減少
  - 構造・施工・環境に関する授業カテゴリーが増加
- 建築情報教育の現状の問題
  - 教員の不足・授業サポートスタッフの不足
  - 費用がかかる・維持保守に手間がかかる

## 参考資料

---

- 2012 年度 建築情報教育の実態調査アンケート 報告書  
<http://news-sv.aij.or.jp/jyoho/s1/education/aie-report2012.pdf>
- 下川雄一 他：建築教育機関を対象とした建築情報教育アンケート調査、第43回 情報システム技術利用シンポジウム論文集、日本建築学会、2021年12月
- 2021 年度 建築情報教育の実態調査アンケート 報告書  
準備中